

日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 52 2020/12/27

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 松村牧師  
 奏楽者 志村泉兄  
 礼拝当番(下) 加藤美樹姉  
 音響・録音 富岡稔雄兄

前奏		
招詞	詩篇106:1	旧 p.1045
*讃美	教会福音讃美歌368番	
*交読	詩篇70篇	旧 p.1004
*信仰告白	教会信仰告白 第条	
祈り		松村 識師
聖書	マタイ11:28-30	新 p.21
黙想		
宣教	「重荷を下ろして」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 400番	
転入会式		松村恵光兄、トシ姉
感謝		加藤美樹姉
献金	教会福音讃美歌 267番	一般・JECA諸基金
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 270番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

祈祷会 (会堂・zoom)

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日は今年最後の礼拝となりました。一年の歩みが守られたことを感謝しましょう。

●2. 本日は礼拝後、祈禱会を行います。zoom参加の兄姉は別途メールにてお知らせしたidを入力して参加ください。

●3. 本日は松村恵光兄、トシ姉の転入会式を行いました。これまで日本同盟基督教団取手聖書教会で40年の教会生活を送ってこられました。交わりに加えられるの教会生活の祝福を祈りましょう。

●4. クリスマスの諸行事が守られたことを感謝します。24日のイブ礼拝には20名（内子ども3名）、ライブ配信には27接続ありました。

●5. 1日（水）は、11:00より元旦礼拝をいたします。時間の間違いのないようにお出かけください。また主日礼拝同様にライブ配信をいたします。

●6. 2021年のみことばの光の通読計画表があります。お持ちください。

●7. 月報12月号を配布しました。ご確認ください。

●8. 本日はJECAの諸基金への献金を本日も行いました。

●9. 今週、水曜の祈禱会は休会です。次回は6日（水）になります。また、松村牧師は12/30、31、1/4、5と休みます。

●10. 来信：クリスマスのご挨拶他、李載華師からお菓子をいただきました。

<元旦礼拝予定>

詩篇33篇、「主の恵みを待ち望む」、交読詩篇1篇、賛美歌353,344, 452, 271

## ●次週礼拝予定

聖書箇所ローマ8:18-25、宣教題「栄光を待ち望む」、交読文詩篇100篇、讃美505, -, 353、献金 452、頌栄 271聖餐式

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	中村直美姉
掃除当番	金光正兄 金戊京姉
水曜聖研	-
奏楽者	渡邊周美姉
証し	-
週報印刷	川久保進兄
食事当番	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	川久保玲子姉
音響・スライド	富岡稔雄兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

●12/30（水）

祈禱会休会

●1/1（金）11:00

元旦礼拝

●1/3（日）

聖餐式

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈禱会
男	2	19	-	3	-
女	3	35	-	4	-
合計	5	54	0	7	-
CS	6				
その他	主日礼拝は会堂1F男3、女6,2F男9、女9、CSはzoom、ライブ配信接続26				

## ● 王の誕生、迎える喜び

～先週の宣教要旨～

マタイ2:1-12

今年はコロナ一色の一年でした。そして、国のトップの言動に注目が集まり、また一人一人の内なる思いを探られました。裸の王様というアンデルセンの童話がありますが、見えないウイルスを巡って、人の目を気にして恐れる心、人のプライドのなす悪癖。立場が人を変え、謙虚な心を失ってしまう。そんなことを目にしてきました。それは人ごとではなく自分自身もまた問われることでした。

イエスの誕生は新しい王の誕生です。ヘロデにとって、東方の博士たちの訪問は寝耳に水。そして、自分を脅かす新しい王の話を知ると、恐れに満たされます。そして、拒絶、抹殺という向きに向かいました。それは、自らが王として、君臨していたいからです。それは、政治の世界の話だけではなく、私たちは自らの小さな世界、それが夫婦であれ、家庭であれ、職場であれ、何かのサークルであれ、そこで小さな王として立ちたい思いを抱えています。

一方、東方の博士たち、彼らはすべてを投げ打って王を迎えます。しかも、ユダヤ人の王です。どういうことでしょうか。権力と征服、支配と被支配征服。神抜きに生きてきた地上の王たちが豊かさ、そしてバベルのように「名を上げよう」という偶像を築きあげながらも迷う地、それが東方です。彼らが真の神が与えたもう真の王だということを信じ、はるばる旅してきたのです。

神の国の王を迎えるためには「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。」(マタイ5:3)とイエス様が教えられたように、自分で自分のこともままならない助けなくして生きていけないことを謙虚に認めるとき、イエス様を王として迎えるのです。裸の王様のようになってはいないでしょうか。王なるお方が来てくださった。その前にすべてを捨てて、喜び迎える時、神の国の恵みに招かれているのです。

## ● 新しい年を迎える備え

～今週の声～

クリスマスを終え、年の瀬を迎えると、身の周りを整えてさっぱり、また、やり残したことをキレイに片付けて新しい年を迎える気持ちになります。そして、どうしても間に合わないことには一つの区切りをつけます。時の節目というのは大切で、神様が備えてくださっているのだなあといつも思うのです。

時の感覚というのは人によって違うものです。締め切りがあると、前もって余裕見て終える人。締め切りに遅れることはなく、ちょうど終える人。間に合わないことはないけれど、締め切りギリギリに駆け込む人。締め切りを過ぎてから言い訳しながら泣きつく人。締め切りを超えて、いつまでたっても終わらない人。夏休みの宿題も同じですね。これは人それぞれですが、守れないことばかりだと信用を失いますから、どこかで折り合いをつけているのではないのでしょうか。

それでも、どこかに締め切りがあるとしたら、それに向けて目標定めて早い遅いはあったとしても、「残り時間」というものを意識するものです。一方、「いつでもいい」こと、それはいつも後回しになります。そして、いつかいつかと思っているうちに、時はどんどん流れて気がつけば、数年、いや、十数年ということも珍しくありません。

時の節目というのは、とりわけ新年を迎えるということは、私たちが強制リセットをかけて、思いと心とカラダ、そして、身の周りを新たに作る時として備えられたもの。とりわけ、日本で言えば春夏秋冬の季節感とともに最も大きな節目の時ではないのでしょうか。

「この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。」(ローマ12:2)のみことばのように、「心を新たに作る」ことをこの年末年始に向き合いたいと思います。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●12/28 (月) 詩篇88篇

悩みと孤独の淵から主に叫び求める詩です。その訴えは主が聞いてくださっているという確信に満ちています。同じようになるとき、私たちは、どのように祈るべきでしょうか。

### ●12/29 (火) 詩篇89：1-18

ことばの限りに主をほめたたえる詩が続きます。私たちは与えられていることばをどのように使うべきでしょうか。ヤコブ3:2-10も読み、考えてみましょう。

### ●12/30 (水) 詩篇89：19-37

33節に、真実を偽らない。契約を破らない。唇から出たことを、わたしは変えない。というおことばがあります。あなたは偽られ、破られ、変えられたという傷をもってはいませんか。一方でそうでない主のご真実から望みを主にかけるといことはどんなことを意味すると思いませんか。

### ●12/31 (木) 詩篇89：38-52

先の約束にも関わらず、神が見えない、という経験を彼は語ります。一方で、その信頼は変わることなく、「心に留めてください」と祈るのです。あなたの祈りはどのような祈りでしょうか。

### ●1/1 (金) 詩篇90篇

年始にあたり、祈るべき祈りはどのような祈りでしょうか。この詩篇から学び、祈りましょう。

### ●1/2 (土) 詩篇91篇

神の見守りを歌った歌で「わが避け所わがとりで、わたしの信頼するわが神」と歌います。あなたの主に對する信頼はどのようでしょうか。

### ●1/3 (日) 詩篇92篇

朝に恵みを、夜ごとに真実を。今日の一日も、明日も、そしてそのまた明日もと繰り返しましょう。また、「年老いてもなお、実を实らせ・・・」とあるように、主に力づけられて歩むことを祈りましょう。

## ●定期集会案内

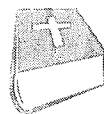
日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

- ・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。
- ・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。
- ・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

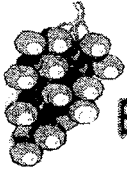
## ●今週の祈り

P61-62 宮園キリスト教会、チャペル・オブ・アドレージョン、ぶどうの樹キリスト教会、朝顔教会



## 今週のみことば

マタイ11:28 すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのものに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 51 2020/12/20

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 松村牧師  
 奏楽者 金戊京姉  
 礼拝当番(下) 中澤ひろ子姉  
 音響・録音 黒田創兄

前奏		
招詞	黙示録19:6b-7	新 p.514
*讃美	教会福音讃美歌89番	
祈り		松村 識師
聖書	マタイ1:18-25	新 p.1
特別讃美	クリスマス・キャロル	ハンドベルクワイヤ
聖書	マタイ2:1-12	新 p.2
宣教	「王の誕生、迎える喜び」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 79番	
感謝		中澤ひろ子姉
献金	教会福音讃美歌 76番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 270番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日はクリスマス礼拝です。イエス様の御降誕、そして、私たちの救いを喜び迎えましょう。アドベントの聖書日課を配布しましたので、お用いください。今週はインマヌエル高津教会の戸塚雅昭先生が書いてくださいました。

●2. 本日は教会学校のクリスマス会をネットで行いました。子どもたちにクリスマスの恵みが伝えられていくように祈りましょう。

●3. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟姉妹は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●4. 24日は19:00よりイブ礼拝を行います。コロナの中で会堂にはお誘いできませんが、ネット礼拝にお誘いしてクリスマスの恵みをお分かちしましょう。ビデオでの特別賛美をハンドベルクワイヤがさせていただきます。また、イブ礼拝では、賛美フラ、賛美の会、トリック兄のバクパイプの賛美も致します。

●5. 今週、水曜の祈禱会は翌日のイブ礼拝のために休止にします。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所マタイ11:28-30、宣教題「重荷を下ろして」、交読文詩篇70篇、讃美368、-, 400、献金 267、頌栄 270

## ●奉仕案内 (主日奉仕は次週のものです)

礼拝司会者	松村牧師
礼拝当番上	-
下	加藤美樹姉
掃除当番	渡邊正江姉 菊川静恵姉
水曜聖研	-
奏楽者	金戊京姉
証し	-
週報印刷	渡邊頌平兄
食事当番	-
	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	欄鉢植え
音響・スライド	富岡稔雄兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

- 12/23 (水)  
祈禱会休会
- 12/24 (木)  
イブ礼拝
- 1/1 (金) 11:00  
元旦礼拝

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈禱会
男	1	19	-	3	4
女	2	37	-	2	2
合計	3	56	0	5	6
CS					
その他	主日礼拝は会堂1F男4、女3,2F男4、女9、CSはzoom、ライブ配信接続25				

## ●神、我らとともにいまし

～先週の宣教要旨～

マタイ1:18-25

イエスの誕生のストーリー、ヨセフはただ、二つのうちどちらを選ぶかを突きつけられました。目に見えることだけを信じるのか。それとも、目には見えないことだけれど、神がなさったことを信じるのかの二つです。目に見えることは、彼の許婚であるマリヤが身ごもっているという事実です。

マリヤはヨセフの許嫁。マリヤにとっては、御使いが告げたことばを「神にとって不可能なことはひとつもない」と信じただけです。ところがヨセフにとっては、すべて言い訳に過ぎません。事実は事実、起こっている出来事がすべてです。ことを公にするか、内密に去らせるか。大きな傷を抱えながらもヨセフは一つの決断をしました。彼が心に決めたそのとき、しかし、まだ、すべてに納得がいったわけではありません。見える事実は事実としながらも、いったいどういうことなのだろうか。「思いを巡らしていた」と書かれています。釈然としない悶々とした思いを抱えたままだったのです。

そこに夢の中に告げられたことば。ヨセフにとっては神の救いのご計画の一部を垣間見たに過ぎません。しかし、すべての疑問が解けました。たとえそれが人の常識ではあり得ないようなことだったとしても、世界の歴史のなかでただ一度しか起こらないことであつたとしても、彼にとってはこれで十分でした。

人の世界、それはままたまならないことばかりの世界です。そして、最大の問題は神抜きに解決しようとするとき、解決し得ぬ問題を抱え続けるのです。そこに、イエスがお生まれになる。その意味は、「神我らとともにいまし。」神が人となって、私たちのところに来てくださった。そして、すべての傷みと悩みと苦しみとをともに負って、十字架の死をもって赦しと愛を与えてくださる。その愛をもって、いつもともにいてくださる。なんという慰め。なんという安心。なんという恵み。その神の素晴らしい恵みに心からの感謝を献げましょう。

## ●ろうそく屋に並んだキャンドル

～今週の声～

ある小さな街にろうそく屋があつた。クリスマスが近づくと、色とりどりのろうそくが売られた。

赤いのや緑の、そしてなんといっても金や銀のろうそくが、次々に売れていく…

白いろろうそくは、こうつぶやいた。

「どうせ、ぼくのことを手にとって、買っていく客なんかいないんだ」

そう思いながらも毎日、いつかは、自分のことを買い求める客が現れるだろうと信じて、待ち続けていた。

そして、クリスマス・イブの夜。店が閉まる時間になってしまった。今日、店を閉じれば、もう今年も終わり。

白いろろうそくは、こう言った。

「やっぱり、ぼくのことを手にとって買っていく客なんかいなかった」

そんな白いろろうそくを手に取りながら、店の主人はこう言った。

「さあ、わたしの家でおまえの明かりを灯してくれ。

おまえが残るのは、いちばんはじめからわかっていたさ。

でも、おまえは売れ残りなんかじゃない。毎日、『おまえはわたしのものだ』って、わたしがずっと見守ってきたのだから。」

(作：中澤信幸 2009.12.20再掲)

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●12/21 (月) ルカ1:57-66

ヨハネ誕生のストーリー。その名は「主は恵み深い」という意味です。親族の名前を付けるのが慣例でしたが、そのような名をと御使いに告げられた通りでした。自分の名前について、考えてみましょう。

### ●12/22 (火) ルカ1:67-80

おしから解放された父ザカリヤは預言して賛歌を歌います。救い主の到来とヨハネの預言者としての働きは預言です。まだ知り得ないことを彼は告げましたが、どのようにこの出来事を受け止めたでしょうか。

### ●12/23 (水) ルカ2:1-21

イエス様の誕生です。ベツレヘムには羊飼いたちが駆けつけます。それに驚く人々、一方でマリヤは心に納めて、思いを巡らした。どんな思いを彼女は巡らし、何を祈ったのでしょうか。

### ●12/24 (木) ルカ2:22-38

シメオンとアンナはイエスを迎え、救いの喜び、希望を目にして神をほめたたえます。これらの人たちは不思議に神がそのことを御霊に導かれて知らされるのです。私たちも聖霊の導きなくしてみことばを理解することも、信じることもできません。聖霊の導きを祈り求めましょう。

### ●12/25 (金) ルカ2:39-52

イエスの少年時代のエピソードはこれが唯一です。その誕生から成長に至るまで、理解し得ぬことがありました。それが明らかにされるのは十字架と復活によつてです。今、分からないことはあっても、主が明らかにされる時、それはよき計画であることを心に留めて待ち望みましょう。

### ●12/26 (土) ホセア13章

偶像礼拝に逸れている民、しかし、「わたしのほかに救う者はいない」(4)、また「だれがあなたを助けよう」(9)と主は言われる。そのように言うことのできるのは神をおいて他にはいないことを覚えよう。

### ●12/27 (日) ホセア14章

「イスラエルよ。あなたの神、主に立ち返れ」(1)と呼びかけられます。さらに「背信をいやし、喜んでこれを愛す」と言われます。その様が続けて書かれています。神の呼びかけに、あなたはどうか応答しますか？

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

P59-60 神栖めぐみキリスト教会、佐倉福音キリスト教会、めぐみの丘チャペル、都賀キリスト教会



## 今週のみことば

マタイ2:6 『ユダの地、ベツレヘムよ、あなたはユダを治める者たちの中で決して一番小さくはない。あなたから治める者が出て、わたしの民イスラエルを牧するからである。』



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 50 2020/12/13

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 松村牧師  
 奏楽者 渡邊羊子姉  
 礼拝当番(下) 古屋恭子姉  
 音響・録音 中原一真兄

前奏		
招詞	ミカ5:2	旧 p.1586
*讃美	教会福音讃美歌64番	
*交読	ルカ1:68-79	新 p.109
*信仰告白	教会信仰告白 第4条	
祈り		松村 識師
聖書	マタイ1:18-25	新 p.1
黙想		
宣教	「神、我らとともにいまし」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 89番	
感謝		古屋恭子姉
献金	教会福音讃美歌 267番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 270番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

祈祷会 (会堂・zoom)

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日はアドベント（待降節）第三主日です。アドベントの聖書日課を配布しましたので、お用いください。今週は松村牧師が書いてくださいました。

●2. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●3. 本日は礼拝後、祈祷会を行います。zoom参加の兄弟は別途メールにてお知らせしたidを入力して参加ください。

●4. 次週はクリスマス礼拝です。そして、24日は19:00よりイブ礼拝を行います。コロナの中で会堂にはお誘いできませんが、ネット礼拝にお誘いしてクリスマスの恵みをお分かちしましょう。ビデオでの特別賛美をハンドベルクワイヤがさせていただきます。また、イブ礼拝では、賛美フラ、賛美の会、トリック兄のバクパイプの賛美も致します。

●5. 郵便局北側の土地とセンター跡地を等価交換の話が出てきて、役員会と会堂施設等検討委員会が地権者と話をしています。この件についての概要、また、次年度の行事・予算案について、1月にzoom併用で信徒会をします。ご案内を別途配布しました。質問や意見などを役員会にお寄せください。

## ●次週礼拝予定

賛美89「栄光とわに王なる御子に」、聖書マタイ1:18-25、特別賛美ハンドベルクワイヤ、聖書マタイ2:1-12、宣教「王の誕生、迎える喜び」、賛美79「まぶねのかたえに」、感謝・献金76「諸人こぞりて」、頌栄270

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	松村牧師
礼拝当番上	-
下	中澤ひろ子姉
掃除当番	松村恵子姉 足立裕美姉
水曜聖研	川久保進兄 イザヤ55章
奏楽者	金戊京姉
証し	-
週報印刷	渡邊恵太兄
食事当番	-
看板当番	坂野喜好子姉
生花当番	アドベント
音響・スライド	黒田創兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

- 12/15（火）-16（水）  
全国運営委員会（牧師）
- 12/20（日）  
クリスマス礼拝
- 12/24（木）  
イブ礼拝

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	1	20	-	3	3
女	3	34	-	4	2
合計	4	54	0	7	5
CS	5				
その他	主日礼拝は会堂1F男2、女3,2F男9、女11、CSはzoom、ライブ配信接続23				

## ● 罪深い人の中に来られた救い主

～先週の宣教要旨～

マタイ1:1-17

新約聖書冒頭の系図、それはいわば神の救いのファミリーヒストリー。丁寧にそれを読み解いていくならば、その歴史と救い主キリストが来られたという恵みを気付かされ、勇気をいただくのです。

アブラハムの子孫、それは信仰による始まりです。創造と墮落、その後の世界はノアの洪水で滅ぼさなければならないほど罪に満ちた世界です。そこから、神の選びによって始まったのがイスラエルです。それは世界の祝福のためでした。その祝福の絶頂にいたのがダビデです。周囲の国々を治め、王国を打ち立てました。しかし、その後の不信仰。そして、バビロン捕囚です。ダビデの子と言うとき、それはやがて来たるべき救い主と国の再興を意味することでした。そして、そこに与えられたキリスト＝救い主が、「主は救い」を意味するイエスです。

ここに14代の時代区分が3回繰り返されています。それは、それぞれの時代を代表する名前を揃えています。アブラハム契約は神の選びです。そして、その祝福をいただいた第一世代。続くバビロン捕囚へは不信仰と神のさばきと試みの第二世代。神への不信仰は同時に隣人への愛の欠如に繋がります。公義がねじ曲げられ、弱者が切り捨てられます。そして、回復からの第三世代は試みを経て学んだに見える人が再び同じ過ちを繰り返してしまう弱い器であることを示しています。

そして、ここには女性の名前が出てきます。罪の塗りつぶしたいような黒歴史、そして、異邦人。この系図には、その罪の現実が赤裸々に残されています。そして、最後、「ヨセフがイエスを生んだ」ではなく、「このマリヤからお生まれになった」と注意深く書かれています。処女から生まれる。つまり罪なきルーツを持ちながら、この罪深い人の系図に身を置くということを同時に言い表しているのがこの言葉です。それは人の罪を負うために。罪なき方が救い主として来てくださったのです。

## ● 一歩進んで二歩下がる？

～今週の声～

先日、**「総合的・俯瞰的」**ということばが気になりました。朝日新聞の記事に過去に例がないといえるほど**「稚拙な言い訳」**と政策コンサルタントの室伏謙一さんが書いておられました。元官僚です。言葉に含みを持たせる便利な用語、**「概ね」**、**「総合的見地から」**とということばを当時よく使ったと言います。含みを持たせる用語としてです。一方、**「総合的」と「俯瞰的」**を並べるとおかしなことになる。**「総合的に判断する」**とは言っても、**「俯瞰的には見る」**もの。正当な根拠がなく、説明ができないからそう言うのではないか、それは政治や行政の世界での説明責任になってはいないというのが論旨でした。

政治の世界にはこれぞ絶対に正しいと言えるものはありません。今考え得る最善とか、よりベターな選択であろうということを考える訳です。こっちを取ればあっちが立たず、あっちを取ればこっちが立たない。そういう中での**「政治的判断」**。それを皆が納得するためには、丁寧な説明が必要なのです。ところが、権力を持ったときあたかも自己絶対化するような傲りが入ってきやすいのです。

コロナ禍の中でもそうです。安全も経済もどっちもというのは大変難しい。それができるなら、とつくに取まっているはずですが。1歩進んで2歩下がる。365日のマーチという歌では、3歩進んで2歩下がる。とにかく、前向きに行こう！ということば。さらに言えば、全然進んでいないように思えるけれど、前を向こうというメッセージです。

どうやってもこれで完璧というようなものはどこにもありません。その中で、試行錯誤を繰り返すことしか私たちにはできないのでしよう。ときに前進していかないどころか後退しているようにすら見えるとき、あるいは右往左往してどっちにも定まらないようなときに、私たち人の限りを超えて導きをくださる神に向かうこと、それが私たち信仰者が力とすることです。さあ、祈りましょう。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●12/14 (月) ホセア9章

「ギブアの日のように、真底まで墮落した」それは、士師記19章の事件です。これを併せて読み、この章で語られている罪それがどのように現れたのかを確認してみましょう。私たちが聞くべきことはどんなことでしょうか。

### ●12/15 (火) ホセア10章

前の章に続いて、ギブアの日々よりこのかた(9節)、と語られるように、罪を犯してきたと語られ、さらに、15節には「あなたがたの悪があまりにもひどいので」と言われます。私たちがこの時代、主の御前に祈り求めるべきことはなんでしょうか？

### ●12/16 (水) ホセア11章

この章は神の熱い思いが語られています。一方で、人の心は頑なです。ことばだけではない、神のみわざ、とりわけ十字架の救いの大きさをもう一度、かみしめて、このことばを読んでみよう。

### ●12/17 (木) ホセア12章

時はアッシリヤとエジプトという大国に挟まれ、そこに頼る時代。遠く先祖ヤコブが兄エサウを押し分け、力づくでことをなしたことから、神との出会いに導かれたことを回想する。頼りにするべきものは何であると問われていますか？

### ●12/18 (金) ルカ1:1-25

ザカリヤに現れた御使いは、ヨハネの誕生を告げます。それは彼の人生に降って湧いたような突然の出来事でした。神の時は不思議で、私たちが思ってもみなかったような時、方法で私たちに迫ります。今、神が語られることを受け止める信仰がありますか？

### ●12/19 (土) ルカ1:26-38

御使いガブリエルを通してマリヤに受胎告知がされる箇所です。彼女は、自分の願いや計画をすべて捨て、これから起こることすべてを神に献げる決心をします。あなたはどうでしょうか。

### ●12/20 (日) ルカ1:39-56

マリヤはナザレからユダのザカリヤの家に行きます。ザカリヤとエリサベツはこの出来事を受け入れるばかりではなく、祝福を与えます。彼らもまた、このことに加わるのです。あなたも主の救いのご計画に加えられています。

## ●定期集案案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会(聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

P57-58布佐キリスト教会、柏福音キリスト教会、足立キリスト教会、鹿島福音キリスト教会



## 今週のみことば

マタイ1:23

「見よ、処女が身ごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 49 2020/12/第6

●牧師 松村 識

●山梨県甲府市武田3-17-4

●TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105

●http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 松村牧師  
奏楽者 金戊京姉  
礼拝当番(下) 田中貴吏兄  
音響・録音 富岡稔雄兄

前奏		
招詞	ミカ5:2	旧 p.1586
*讃美	教会福音讃美歌62番	
*交読	ルカ1:46-55	新 p.108
*信仰告白	教会信仰告白 第3条	
*祈り		松村 識師
聖書	マタイ1:1-17	新 p.1
黙想		
宣教	「罪深い人の中に来られた救い主」	松村 識師
聖餐式	教会福音讃美歌 259番	
讃美	教会福音讃美歌 101番	
感謝		田中貴吏姉
献金	教会福音讃美歌 267番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 270番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日はアドベント（待降節）第二主日です。聖餐の恵みにも与りました。主の御降誕を喜び、来臨を待ち望んで過ごす時としましょう。アドベントの聖書日課を配布しましたので、お用ください。今週はウェスレアン・ホーリネス教団シャローム日田教会の辛島道也師が書いてくださいました。また、クリスマス礼拝とイブ礼拝の案内もお用ください。

●2. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、場所は離れていても、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄姉は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●3. 次週は礼拝後、祈祷会を行います。zoom参加の兄姉は別途メールにてお知らせしたidを入力して参加ください。

●4. 役員会では2021年度の行事の計画・予算案の準備を進めています。各会の代表の方・会計の方は、12月20日（日）までに渡邊頌平兄へ資料のご提出をお願いします。また、個人の方でも、来年度に向けての御意見等があれば役員会へお願い致します。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所マタイ1:18-25、宣教題「神、我らとともにいまし」、交読文ルカ1:68-79、讃美64、-, 89、献金 267、頌栄 270

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	松村牧師
礼拝当番上	-
下	古屋恭子姉
掃除当番	田中貴吏兄 田中直美姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ54章
奏楽者	渡邊羊子姉
証し	-
週報印刷	石山堅持兄
食事当番	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	アドベント
音響・スライド	中原一真兄
スライド作成	金光正兄

## ●今週/今後の予定

- 12/20（日）  
クリスマス礼拝
- 12/24（木）  
イブ礼拝

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	1	22	-	3	2
女	3	36	-	4	2
合計	4	58	0	7	4
CS	6				
その他	主日礼拝は会堂1F男4、女3,2F男8、女9、CSはzoom、ライブ配信接続23				

## ● 進んで損をする話

～先週の宣教要旨～

ルツ4:7-12

ルツの求婚にボアズは即断即決でことを進めます。キーワードは「買い戻しの権利」です。それは、元来、自分のものを代価を払って買い戻すということを意味することばです。何らかの事情で、土地を売り、あるいは身売りして奴隷にならなければならないような状況になったとき、それを親類が肩代わりして取り戻すのです。つまり、買い戻しというのは進んで損をして親類を助ける、そういう制度です。

その家から男手が絶えたときには、先祖から受け継いだ地を途絶えさせないためには、死んだ者の妻を自分の妻としなければならないという定めがありました。ルツの求婚には、この買い戻しが必要だったのです。そして、ボアズよりも近く買い戻しの権利のある親類がいたのです。

ボアズは町の門、当時の正式な取引のなされる場に行き、その親類、そして町の長老たちを招いて手続きをします。すると、近い親類は「自分自身の相続地を損なうといけませんから」と言います。買い戻しの権利の行使がどのように行われたのか定かではありませんが、そこまでの重荷は追いきれないと判断したのです。逆に言えば、ボアズはそのすべてのリスクを負い、進んで損をしても買い戻そうとしているということです。

ボアズの買い戻し、それは「型」、贖いの型です。アドベントを迎える私たち、キリストこそが、すべての人の贖い主としてこの世に来てくださった。しかもその贖いのために自ら持てるものを投げ打って、進んで損をし、その身を献げて仕える「しもべ」となってくれました。神は私たちをご自分のもの、熱烈に愛しておられるのです。だから、大きな代価を払って、買い戻し、取り戻したいのです。そして、元々持っていた美しい関係に戻したいと願っておられます。この恵みに心から感謝しようではありませんか。

## ● 与えられた喜び

～今週の声～

もうすぐクリスマス。2歳の息子も今年は我が家のツリーの飾り付けをしたり、アドベントカレンダーにシールを貼ったりと、それなりに楽しんでいるようです。ちなみに、クリスマスの時期を一番楽しんでいるのは、妻。寒さが苦手な彼女にとっては、クリスマスの時期は冬の数少ない楽しみ。

絵本の読み聞かせもクリスマスの本を読む機会が増えました。我が家には三冊のクリスマスの絵本があります。どの絵本もクリスマスについて、イエス様がこの世界に来られた素晴らしい日であるというメッセージ、神様の栄光を賛美する天使の姿や、礼拝を捧げる東方の博士たちや羊飼いたちの喜びにあふれる姿が描かれています。

今年はコロナ禍にあって、兄弟姉妹と共に集まり、礼拝を捧げ、食事をし、祝会での楽しい交わりを持つことが出来ません。この状況が、今年だけに終わらず数年間続いた場合に、子どもたちにとってクリスマスの時期がどのような経験として残るだろうかという想いに駆られます。しかし、特別なことは出来ないとしても、「イエス様がこの世界に来られたことが、いつの時代も変わらず私たちの喜びなんだよ。」ということを常に語り続けていきたいと思います。「恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。あなたがたは飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなたがたのためのしるしです。」(ルカ2:10-12)

それぞれの場所で、私たちのために来られた主イエス・キリストの御名を賛美し、このクリスマスを過ごしていきましょう。また、その恵みに対する感謝と献身のしるしとして、クリスマス献金をお捧げ致しましょう。

追記：「みどりご」は、大人になるまで「green child」だと思い込んでいました。息子に聞かれたら、意味を正しく伝えたいと思います。

(会計役員 渡邊頌平)

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●12/7 (月) ホセア3章

ホセアは、神の言われるまま、妻を買い戻します。イスラエルもそれと同じ、王国の末期、神に愛されながら、偶像に走った民を神は再び買い戻す。それほどに神の愛は大きく、神の愛は深いことを覚えよう。

### ●12/8 (火) ホセア4章

罪に溺れる民を姦淫、淫行ということばで言い表します。それは偶像礼拝。偶像は心の欲望が表れたもの。その形よりも心において偶像を生み出す罪こそが問題です。それゆえ、1節にあるように真実、誠実が失われます。今の世、今のあなたはどうでしょうか。

### ●12/9 (水) ホセア5章

罪の高慢、5節にはそれは顔に現れていると言われます。自分の顔を鏡に映してみたときどうでしょうか。よくよく自分の顔を見てみましょう。

### ●12/10 (木) ホセア6章

さあ、主に立ち返ろう(1節)と呼びかけられます。そして、見せかけの行いより、神が求められること何であると書かれていますか。あなたはどうですか。

### ●12/11 (金) ホセア7章

イスラエルとエフライムは同じことばの言い換えです。彼らのさばきは、国々の民の中に入り混じり(散らされ)、生焼けのパン菓子(他の民に占領される)のようになる。そのさばきのことばに求められることは何でしょうか？

### ●12/12 (土) ホセア8章

「造り主を忘れて」(14) 生きるイスラエル。それはどんなに祭壇を作り、いけにえを献げても、埋め合わせができるものではないと語られる。真に求められているものはなんだろうか。

### ●12/13 (日) ヘブル1:5-14

御子についての旧約聖書のことばがここに集められています。その語ることは、神に仕える御使いについて言われていることとは違う。どのように違い、それは御子がどのようなお方であることを表していますか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお返しください。

## ●今週の祈り

P55-56 みらい平キリスト教会、牛久福音キリスト教会、取手キリスト教会、我孫子キリスト教会



## 今週のみことば

マタイ1:17 それで、アブラハムからダビデまでが全部で十四代、ダビデからバビロン捕囚までが十四代、バビロン捕囚からキリストまでが十四代となる。